



# おひさまっこ



月



こんがりとした子どもたちの顔に、このひと夏の成長を感じているこの頃。今年の夏はむし暑くほとんど外に出られない日が続きました。しかし、少しずつ秋の風が吹いてきて、田んぼに囲まれている「おひさまっこ」は夕方になると、秋の風が心地いいです。となりの神社のセミもひぐらしに代わり、「ミンミン」から「ツクツクボウシ」に鳴き声に変化してきています。「セミ取りに行きたい！」と子どもたちにせがまれて行ってみますが、木の高いところで鳴くので、姿すら拝めません。周辺を散歩して、汗をかいて、保育園に帰って沐浴をします。室内遊びにも、同じおもちゃで同じ遊びにならないよう変化を持たせ、時にはプラスチックカーを走らせて、気分転換を図ります。保育士は常に笑顔で、子どもたちに接していますが、マスクで表情がみえない分、優しい言葉がけができるようにしています。早く、マスクなしの生活がしたいものですね。

## 9月の行事予定

- ・9月6日(火) 発育測定
- ・8月12日(月) 保育料引き落とし
- ・9月16日(金) 命を守る訓練(不審者対応)
- ・9月20日(火)～22日(木) 敬老会(デイサービスとも交流)

8月の命を守る訓練は台風について、職員でどのように子供の命を守っていくのかを話し合いをしました。



- ・9月の土曜保育を希望の方は8月26日(金)までに、用紙を提出してください。
- ・8/31(水)でプール遊びは終了いたします。着替えと別に汚れてもよい衣服一組を持ってきてください。
- ・運動会は10月22日(土)を予定しています。詳細は後日連絡いたします。

## 防災の日



みんなが生まれるずっと前（1923年）の9月1日に、「関東大震災」というとても大きな地震がありました。大きな地震では、たくさんの家が壊れ、多くの人々がけがをしたり、なくなったりしました。そんな怖い地震のことを忘れずに、いつ来るか分からない地震に備えて、安全に避難したり助け合ったりできるように練習し、みんなで災害や避難訓練について確認し合おう、ということで「防災の日」ができました。保育園では「命を守る訓練」で毎月避難訓練を行っています。

## 敬老の日



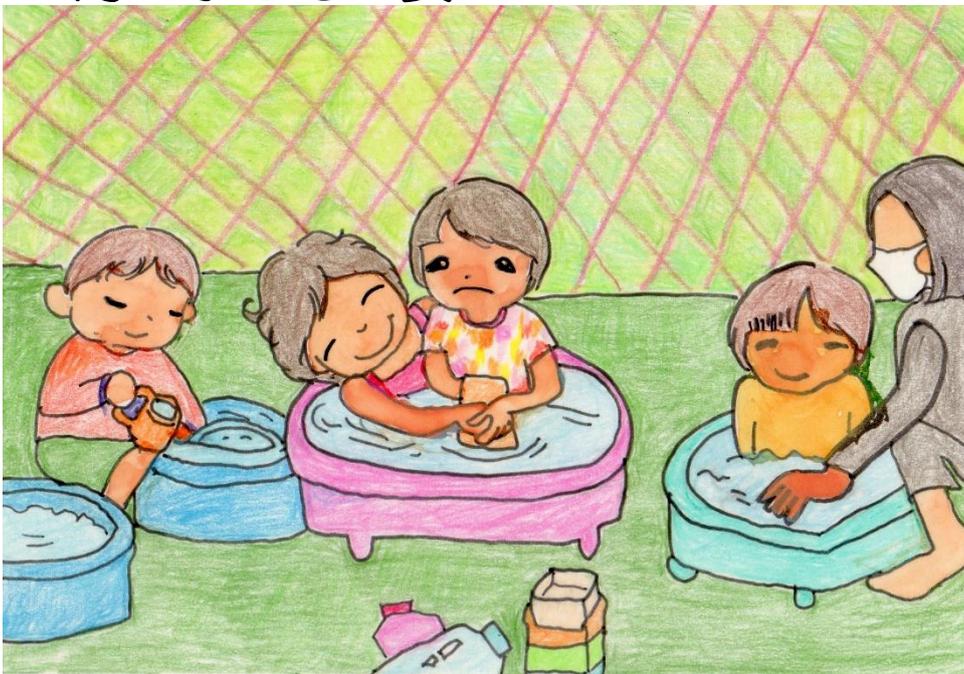
9月15日の由来は、593年に聖徳太子が身寄りのない老人や病人のための救護施設「悲田院」を設けた日や、「養老の滝」伝説にちなみ、農閑期の9月15日に敬老行事が開催されたからだといわれていますが、諸説あります。保育園では2歳児がダルマに目を描いてラミネートしてプレゼントを作りました。デイサービスまでお散歩して、それを届ける予定でいます。顔を見せるだけで喜んでくれるおばあちゃんたちです。きっと楽しみにしていることでしょうね。

## 中秋の名月



中秋の名月(十五夜)とは文字通り「中秋に見ることができる美しい月(満月)」のことを指します。魔除けにススキを飾ると言われていますが、子どもたちは団子を食べる方がうれしいですね。まるい団子は満月、細長い団子は里芋の形だそうです。今年もきれいなお月様が見られるといいですね(^)

## 8月の子ども姿



暑い日はプールが一番楽しいですね。1つのプールで水を汲んだり、水鉄砲をしたり、時には、姉妹で一緒に入ったりしていました。

プールの苦手な子は、プールの中に入らずウォータージャワーのトンネルの水に触れたり、たらいの中で足踏みをしたりして「キャーキャー」喜び姿が見られました。毎日、遊ぶ中で顔や身体に水がかかっても、平気で遊べるようになってきました。

### 【編集後記】

「お部屋ばかりじゃあ退屈だよなー」と夕方、ベビーカーを押して近辺を散歩中に突然の豪雨が降ってきました。近くに居合わせたお婆ちゃんが「かわいそうだよ」と言ってタオルを出して拭こうとしてくれました。本人さんは人見知り中で、雨でぬれたのを泣いたわけではなく、知らない人だったので泣いたのですが、近づけば近づくほどギャン泣き！お婆ちゃん曰く「濡れとるでかわいそうだ〜」と私に訴えられました。すぐ引き取って、沐浴をして本人さんはご機嫌でした。おばあちゃんは私たちの対応にちょっと不機嫌でした”(-“-)”ごめんなさい。